

NANZAN
UNIVERSITY

南山大学図書館報

ΔΥΝΑΜΙΣ

～デュナミス～

No.71 2017.4.1

CONTENTS

1 つながる場所、隔たる場所

外国語学部准教授：高岡 佑介

2 〈新入生に〉図書館員からのおすすめの1冊

6 秋の企画展報告

「シェイクスピア・Shakespeare・沙吉比亞」

広報委員：富増 和可

8 オープンキャンパス／父母の集い企画展報告

徳川政治の光と影－泰平の世と禁教令－

広報委員：石田 信

10 韓国ソウルの図書館見聞記

利用者支援係：加藤 富美

12 新入生のためのライブラリー案内のお知らせ

南山大学図書館 新入生歓迎企画展のお知らせ

編集後記

つながる場所、隔たる場所

高岡 佑介

入館ゲートを通して図書館に入ると、わくわくするとともに、ほっとします。わくわくするのは、まだ読んだことのない（あるいは、読んだけど内容を忘れてしまった）本や雑誌に対する興味からであり、ほっとするのは、読書（黙読）という個人的な営みによって他人とのやりとり、接触からひとまず距離を取ることができるという安堵からです。

皆さんにとって、図書館とはどのような場所でしょうか。「本を借りる場所」。確かに、その通り。実際、毎日多くの方が本を借りに図書館を訪れます。しかし歴史を振り返ってみると、どうやら図書館には複数の「顔」があったようなのです。美学者の中井正一は、「歴史の流れの中の図書館」*1) というエッセイの中で、図書館が担ってきた役割を次の三点にまとめています。

第一は、「文庫としての図書館」。これは、書物を収集して置いておく、保存の場としての図書館です。第二は、「喫茶店／百貨店としての図書館」。図書館は、気軽に訪れることのできる、人びとの交流の場である一方、さまざまな国や分野の書物を取り揃えて陳列する、展示・閲覧の場でもあります。第三は、「情報網としての図書館」。ここでは、書名や著者名といった書物に関する情報が、書物そのものと同じくらい重要な意味を持ちます。というのも大抵、図書館内の膨大な蔵書の中から目当ての資料を探し出すためには、目録に記載された書誌情報を参照することになるからです。また、探している資料がその図書館にない場合でも、書誌情報があれば、

他の図書館に連絡して資料の取り寄せ・複写を依頼することができます。図書館は、蔵書目録の作成など、無数の書物を情報として扱い整備する、組織化の場でもあるのです。

現在の図書館は、情報網としての働きをいっそう強めているようです。書籍の電子化は言うに及ばず、オンライン蔵書目録（OPAC）をはじめとする検索システムやデータベースなど、「情報化」が私たちにもたらした恩恵は計り知れません（学生の皆さんは、ぜひ一度南山大学図書館ウェブサイトの「電子リソースポータル」にアクセスしてください。たいへん便利です）。

喫茶店で人と交流すること、百貨店で自分の知らない商品を見て回ることに、広大な情報の世界に触れること。こうした「つながる」ことの喜びが図書館にはあります。しかし、私はどういうわけか「文庫としての図書館」、すなわち書物を入れておく「蔵」としての図書館にも惹かれてしまいます。外の喧騒から少し離れたところに身を置き、保存された過去の書物を独りで読み耽る。そのような、「現在」から隔たる経験が意外と大切なのではないか。そんな気がするのです。

皆さんも、つながる／隔たるための場所として、ぜひ図書館に足を運んでみてください（できれば書庫の方まで）。

*1) 『中井正一全集 第4巻』久野 収 編。美術出版社、1981
(請求番号：701L/427/v.4)

(TAKAOKA, Yusuke：外国語学部准教授)

新入生に

図書館員からのおすすめの1冊

新入生の皆さん、図書館へようこそ。歓迎の気持ちをこめて、図書館員からおすすめの本を紹介いたします。図書館を探検して是非手に取ってみてください！借りてみてください！そして読んでみてください！



タイトル 学問のすすめ：現代語訳（ちくま新書766）

著者 福澤 諭吉 著、齋藤 孝 訳

出版社 筑摩書房 2009.2

請求番号 081K/2447/v.766/A ほか

オススメ 時代を超えて読み継がれる福澤諭吉の大ベストセラー『学問のすすめ』。数ある現代語訳版のなかでも本書は特に読みやすく小気味よい福澤節に思わずクスッとさせられることでしょう。学問を学び教養を身につけることの大切さや人として生きる上での志を伝えてくれる新入生のみなさんにピッタリの1冊だと思います。

多くの方が耳にしたことのある福澤諭吉の著者「学問のすすめ」を読みやすく現代語訳した一冊。明治時代初期に書かれたにもかかわらず、現代社会にも通じる内容となっている。この本を通し、学問を身につけることの意義を再認識し、今後の大学生活を充実したものにしてもらいたいです。新入生問わず全ての学生におすすめしたい一冊です。



タイトル 本ができるまで：カラー版（岩波ジュニア新書 440）

著者 岩波書店編集部編

出版社 岩波書店 2003.6

請求番号 081K/2435/v.440

オススメ 最近はスマートフォン等でも読書できるようになりましたが、改めて紙の本に目を向けて見ませんか？活版印刷の発明から現代に至る本と印刷の歴史、製本について、新書サイズにコンパクトにまとめられた1冊です。カラー図版が満載なので、印刷や歴史に興味がなくとも気軽に楽しめると思います。



タイトル 世界の不思議な図書館

著者 アレックス・ジョンソン 著、北川 玲 訳

出版社 創元社 2016.4

請求番号 010K/525

オススメ 「図書館」と聞いたとき、どのようなものを想像しますか？

この本は皆さんの「図書館」というイメージをがらりと変えるかもしれません。ページをめくるたび「これも図書館？」という不思議な、でも素敵な「図書館」が姿を現します。大きなものから小さなものまで、動くものから動かないものまで。発想は自由です。あなたはどんな「図書館」を創ってみますか？



- タイトル** なぜ私だけが苦しむのか：現代のヨブ記
著者 H. S. クシュナー 著、斎藤 武 訳
出版社 岩波書店 1998.7(同時代ライブラリー) 2008.3(岩波現代文庫)
請求番号 081K/2445/v.349(同時代ライブラリー)
 081K/2940/v.0-150(岩波現代文庫)

オススメ 人生はいつも幸せに満ち、努力は必ず実る、そのような期待と希望が報われない時があることを、これからの長い人生の中で感じることもあるかと思えます。そんな時は心に寄り添ってくれる存在が必要なのだ、この本を読んで感じました。自分にとってそうだったように、苦しい時の心に寄り添ってくれる1冊となりませうように。



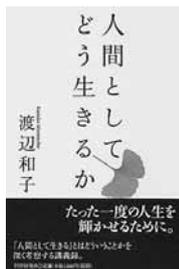
- タイトル** 哲学って、考えるって何？ (哲子の部屋1)
著者 NHK「哲子の部屋」制作班著
出版社 河出書房新社 2015.5
請求番号 104K/658/v.1、BROW/100/2

オススメ 本書では、「哲学とは『新しい概念』を作り出すこと」と定義されています。概念とはモノの見方・モノの考え方を意味します。変えようのない現実も、新しい知識や視野を得ることで捉え方を変えられます。様々な現実とどう向き合うのか、自分なりの概念を模索するきっかけとなるようお願い、新入生の皆さんにお薦めします。



- タイトル** 置かれた場所で咲きなさい
著者 渡辺 和子 著
出版社 幻冬舎 2012.4
請求番号 198K/5226

オススメ 友人、恋愛、将来のことなど悩んだときに手にとって欲しい一冊です。この本を読むと今の自分の置かれた環境を楽しまなくては！と思わせてくれ、前向きな気持ちになります。皆さんのお気に入りのフレーズを見つけてください。著者のシスター渡辺の半生を綴った『強く、しなやかに 回想・渡辺和子』198K/5599もお薦めです。



- タイトル** 人間としてどう生きるか
著者 渡辺 和子 著
出版社 PHP 研究所 2003.2
請求番号 198K/3691

オススメ 2012年の著書『置かれた場所で咲きなさい』が日本中で大ベストセラーになった、シスター渡辺和子先生のノートルダム清心女子大学での講義をまとめたものです。心に残る言葉にあふれていて、読むと気持ちが引き締まります。南山大学にも何度か来てくださっているシスター渡辺は私の憧れの人でした。昨年12月に惜しくも亡くなりましたが、シスターの言葉はこれからも多くの人に受け継がれていくことでしょう。



- タイトル** わくわく城めぐり：ビギナーも楽しめる「城旅」34
著者 萩原 さちこ 著
出版社 山と溪谷社 2012.10
請求番号 BROWG/520/7

オススメ 「迷路のように複雑な城内の通路」、「ほぼ垂直で段差も高い天守内の階段」のように、城のさまざまなものには多くの目的と意味があります。この資料は日本の歴史を知らない初心者でもよくわかり、楽しめる様々な城が紹介されています。名古屋城がある名古屋市の大学に在籍されている新入生の皆さん、この資料を手を持って城に行き、日本の深い歴史を堪能してください！



- タイトル** サイゴンから来た妻と娘 (文春文庫)
- 著者** 近藤 紘一 著
- 出版社** 文芸春秋 1981.7
- 請求番号** 081K/2429/v.0-7
- オススメ** 若者に薦める本を選ぶって本当に難しい。これは自分が大学生の頃に夢中で読んだ本。著者は当時サンケイ新聞 (現在は産経新聞) の記者。フランス語が堪能だったことから、サイゴン特派員となり、現地で南ベトナム無条件降伏、サイゴン陥落を体験。そのような歴史的な体験とともに、現地で再婚したベトナム人の妻や妻の娘との関係が綴られている。この本はその後『バンコクの妻と娘』『パリへ行った妻と娘』と続くが、著者は残念ながら45歳で早世した。



- タイトル** ぼくらの民主主義なんだぜ (朝日新書514)
- 著者** 高橋 源一郎 著
- 出版社** 朝日新聞出版 2015.5
- 請求番号** 304K/1022
- オススメ** 「本と格闘してください。根気も体力も要る内容の本は若い今だからこそ読む価値があるのです。」とは私の学生時代の恩師の言葉です。自分の頭で考え、自分の言葉で語るには「読む」訓練が必要だということでしょう。さて、他人に「これ読んでみて」と薦めることって実は難しい。いや苦手です。悩んだ挙句、この本を選んだのはいろいろ考える時の視点がいっぱい詰まっている気がしたからです。



- タイトル** ディズニー そうじの神様が教えてくれたこと
- 著者** 鎌田 洋 著
- 出版社** ソフトバンククリエイティブ 2011.10
- 請求番号** BROW/680/3
- オススメ** ディズニーの神様シリーズの中の一冊です。これから社会に出て行く学生さんたちが働く姿勢や目標の持ち方のお手本とすることができます。このお話しに出てくる考え方は仕事だけではなく、人生のいろいろな場面で参考になると思います。



- タイトル** 英語で話すための日本図解事典
An illustrated English - Japanese dictionary of Japanese life
- 著者** 西蔭 浩子、トム・ディラン 著
- 出版社** 小学館 2009.9
- 請求番号** 837/199
- オススメ** 時々、留学先で日本のことを聞かれたけれど、うまく説明できなかったという話を聞くことがあります。外国語で説明するのが難しいということもありますが、寧ろ当たり前過ぎて意外に日本のことを知らないということの方が大きいようです。この本は、イラスト付きで日本の生活や社会、伝統文化などを日英対訳で説明しています。日本語だけ読んでも発見があるでしょう。



- タイトル** 大聖堂 上・中・下巻 (ソフトバンク文庫)
- 著者** ケン・フォレット 著、矢野 浩三郎 訳
- 出版社** ソフトバンククリエイティブ 2005.12
- 請求番号** B933K/3483/v.1 ~ v.3
- オススメ** 中世暗黒時代のイングランドが舞台です。大聖堂建立を目指す人々の愛と憎しみ、司祭の権謀術数、さらには国王の権力争いなどが絡み合った、壮大なヒューマンドラマです。ものすご〜く面白かったです。是非読んでみてください。



タイトル 不思議の国のアリス

著者 ルイス・キャロル 著、高山 宏 訳、佐々木 マキ 絵

出版社 垂紀書房, 2015.4

請求番号 B933K/3756

オススメ 高山宏（多くのアリス関係の著作多数）の翻訳、佐々木マキ（村上春樹の作品のイラストで知られる）の挿絵、凝った本文の編集のコラボレーションで誕生した最新の日本語版『不思議の国のアリス』。これは大人のためのアリスです。アリスを読んだことのある人も、図書館報 No.68掲載の関連記事「ニヤニヤ・ネコを知っていますか」と併せ、ぜひお楽しみください。



タイトル 星の王子さま：新訳

著者 サンテグジュペリ 著、小島 俊明 訳

出版社 中央公論新社 2005.6

請求番号 953K/1950

オススメ 1943年初版以来、200以上の国と地域の言葉に翻訳され世界中の人々に愛されている不朽の名作。「肝心なことは、目に見えない」「心で見ないと、ものごとはよく見えない」をはじめとする「星の王子さま」に込められた大切なテーマ、メッセージの数々。大学時代に（そして、社会人になってから再び）読んでほしい一冊。読むたびに新たな発見や感銘があります。



タイトル アルジャーノンに花束を

著者 ダニエル・キイス 著、小尾 芙佐 訳

出版社 早川書房 1989.4

請求番号 A933K/2752、770F/1745(DVD)

オススメ 「本当の自分を捨てたりしない。」という主人公の同僚の一言がこの本の大切なメッセージを伝えています。人と比べて悩んだり、苦しんだり、もがいたりしている時だって、どんな時も自分らしくあればいいと再確認させてくれる一冊です。ありのままの自分と、そして自分以外の人もありのままに受け入れることの大切さを痛感させられる感動の一冊。これからたくさんの人と出会う新入生の皆さんが、自分とまわりの人を大切にしてほしい、そんな思いをこめてお薦めします。ぜひ読んでみてください。



タイトル 氷点（三浦綾子小説選集）

著者 三浦 綾子 著

出版社 主婦の友社 2000.12

請求番号 913K/2507/v.1

オススメ ミッションスクールに入学した皆さんに、クリスチャン作家の作品をおすすめします。1960年代の古い作品ですが、何度も映像化され、2006年のドラマ化では石原さとみが主演しました。殺人者の娘を養女に迎えた家族を中心とした愛憎劇を通して、キリスト教の「原罪」が描かれています。

秋の企画展報告

シェイクスピア・Shakespeare・沙吉比亞

2016年秋の図書館企画展では「世界の文豪」シェイクスピアの没後400年にちなみ、南山大学図書館が所蔵するシェイクスピアの貴重書をはじめ、シェイクスピアのエピソードや名言集、作品関連DVDなどを展示しました。その一部を簡単にご紹介いたします。

貴重書展示

Mr. William Shakespear's comedies, histories, and tragedies : published according to the true original copies. The third impression 1985年リプリント版 請求番号：B932W/2/B [貴重書室]

シェイクスピア作品を取めた1664年刊行の戯曲集。初版で出版された『マクベス』『ハムレット』などを含む36本の戯曲に加え、このThe third Impressionでは『ペリクリーズ』など7本の戯曲が収録されています。1666年のロンドンの大火によって印刷所が消失し現在に残る実物が少ないため、シェイクスピアの作品を今日に伝える上で大変貴重な出版物です。



シェイクスピアの生涯 —どんな人だったの?—

ウィリアム・シェイクスピア (1564–1616) ルネサンス期イギリスの詩人・劇作家。

中産階級の裕福な家庭で生まれたシェイクスピアですが、13歳の時に突如没落。そのため正規の教育を15歳までしか受けることができなかったようです。しかしながら彼の作品には彼の学歴や経歴で備わっていたとは考え難いような知識（外国に関する記述や法学・文学などにおける深い教養）を必要とする場面が数多く描かれており、研究者の間では「シェイクスピア別人説」もささやかれているのだとか。彼の生涯について不明な点が多いことや自筆の原稿が残っていないことも「別人説」がささやかれる理由であるようです。



シェイクスピア家の紋章

シェイクスピア作品の特徴

①華麗で修飾的なせりふ

2,000人を超える観客が円形舞台を囲むスタイルで演じられたシェイクスピア劇。そのため細かい表情の演技はそぐわず、情景のすべてをせりふで説明するような饒舌・華麗で修飾的なせりふに、朗読調の独白、脇せりふといった独特の演技法が多く用いられるようになりました。

②特徴的な英語

中世の共通語だったラテン語に対し、英語が母語として台頭しはじめたエリザベス朝時代。近代英語へと変貌する過渡期にあったことで、“more larger”や“I cannot go no further”というような自由奔放な表現も使われていたようです。

③ブランク・ヴァース (blank verse)

従来、芝居のせりふは韻文（韻律を整え一定のリズムを持たせた文）で書かれるものでしたが、シェイクスピアは作品ごとに韻文と散文を巧妙に使い分けていたようです。英語の話言葉の基本型に最も近い「弱強5歩格」のブランク・ヴァース (blank verse) と呼ばれる特徴的な詩形を意図的に用いることで芝居のリズムに微妙な変化をあたえ、せりふに無限の味わいを生み出しました。口調がよく、記憶しやすいブランク・ヴァースを用いることで、数々の名せりふが生み出されてきたのです。

作品介绍 シェイクスピアが生涯に創作した戯曲は37篇とされてきましたが、最近の研究ではそこに3作追加され40篇とされています。そんなシェイクスピア作品を主要なジャンル別にご紹介。

歴史劇 歴史劇に分類される作品は右の12作。イングランドの王を表題に掲げ、その時代を描いています。貴族が対立して王位を争った「ばら戦争」を中心に取材した作品が核となっています。

悲劇 1600年から数年間は「悲劇時代」と言われ、この間に書いた『ハムレット』『オセロー』『リア王』『マクベス』は四大悲劇と呼ばれます。有名な『ロミオとジュリエット』はこの悲劇時代以前の作品で、悲劇的な要素のないユーモラスな内容の前半から急転直下悲劇へと変わるといふ特殊な構成となっています。このほか、『タイタス・アンドロニカス』『ジュリアス・シーザー』『アントニーとクレオパトラ』『コリオレイナス』は「ローマ史劇」というジャンルとしてもまとめられ、古代ローマを舞台とした政治世界が描かれています。

喜劇 内容的にはもっぱら恋愛喜劇です。シェイクスピアの死後、1623年に出版された最初の全集（ファースト・フォリオ）では、右の10作に加え、問題劇として分類した『終わりよければすべてよし』や『尺には尺を』、またロマンス劇に分類した5作も喜劇として収録されています。

問題劇 一般に悲劇時代に書かれた『トロイラスとクレシダ』『終わりよければすべてよし』『尺には尺を』の3作を指します。喜劇でも悲劇でもなく従来のカテゴリには分類しきれない演劇形態の作品で、研究者によっては『ヴェニスの商人』『アテネのタイモン』『冬物語』を含める場合もあるようです。

ロマンス劇 シェイクスピアの最晩年の作品群を分類したジャンルです。「ロマンティックな劇」あるいは「恋愛ものの劇」という意味ではなく「現実離れた空想物語」という意味で、もともとはロマンス語で書かれた中世の荒唐無稽な物語のことです。

詩 彼の劇作品のほとんどすべてがいわゆる無韻詩（blank・ヴァース）によって書かれていることからわかるように、シェイクスピアは劇作家である前に詩人でありました。シェイクスピアの詩集は劇作品の数に比べればわずかですが、彼の全作品の中で一番初めに出版された『ヴィーナスとアドーニス』や、154篇を収めた『ソネット集』などが有名です。『ソネット集』は他の長編物語詩と違い、ソネット（14行からなる短い詩）を通して彼自身の心の底を提示した作品だと言われています。

ジャンル	創作年	作品名
歴史劇	1589年	エドワード三世 (Edward III)
	1590-1591年	ヘンリー六世・第二部 (2 Henri VI)
	1590-1591年	ヘンリー六世・第三部 (3 Henri VI)
	1591-1592年	ヘンリー六世・第一部 (1 Henri VI)
	1592-1593年	リチャード三世 (Richard III)
	1592-1593年	サー・トマス・モア (Sir Thomas More)
	1595-1596年	リチャード二世 (Richard II)
	1596-1597年	ジョン王 (King John)
	1597-1598年	ヘンリー四世・第一部 (1 Henri IV)
	1597-1598年	ヘンリー四世・第二部 (2 Henri IV)
	1598-1599年	ヘンリー五世 (Henri V)
	1612-1613年	ヘンリー八世 (Henri VIII)
悲劇	1593-1594年	タイタス・アンドロニカス (Titus Andronicus)
	1594-1595年	ロミオとジュリエット (Romeo and Juliet)
	1599-1600年	ジュリアス・シーザー (Julius Caesar)
	1600-1601年	ハムレット (Hamlet)
	1604-1605年	オセロー (Othello)
	1605-1606年	リア王 (King Lear)
	1605-1606年	マクベス (Macbeth)
	1606-1607年	アントニーとクレオパトラ (Antony and Cleopatra)
	1607-1608年	コリオレイナス (Coriolanus)
	1594-1595年	ヴェローナの二紳士 (The Two Gentlemen of Verona)
喜劇	1594-1595年	恋の骨折り損 (Love's Labour's Lost)
	1593-1594年	じやじゃ馬馴らし (The Taming of the Shrew)
	1592-1593年	間違いの喜劇 (The Comedy of Errors)
	1595-1596年	夏の夜の夢 (A Midsummer Night's Dream)
	1596-1597年	ヴェニスの商人 (The Merchant of Venice)
	1600-1601年	ウィンザーの囃気な女房たち (The Merry Wives of Windsor)
	1598-1599年	から騒ぎ (Much Ado About Nothing)
	1599-1600年	お気に召すまま (As You Like It)
	1599-1600年	十二夜 (Twelfth Night)
	1601-1602年	トロイラスとクレシダ (Troilus and Cressida)
問題劇	1602-1603年	終わりをよければすべてよし (All's Well That Ends Well)
	1604-1605年	尺には尺を (Measure for Measure)
	1607-1608年	アテネのタイモン (Timon of Athens)
	1608-1609年	ペリクリーズ (Pericles)
ロマンス劇	1609-1610年	シンペリン (Cymbeline)
	1610-1611年	冬物語 (The Winter's Tale)
	1611-1612年	テンペスト (The Tempest)
	1612-1613年	二人の貴公子 (The Two Noble Kinsmen)
詩	1592年	ヴィーナスとアドーニス (Venus and Adonis)
	1594年	ルークリスの凌辱 (The Rape of Lucrece)
	1599年	情熱の巡礼者 (The Passionate Pilgrim)
	1601年	不死鳥と鳩鳩 (The Phoenix and Turtle)
	1593-1596年	ソネット集 (Sonnets)
	1600-1603年	恋人の嘆き (A Lover's Complaint)

名セリフ集

企画展の最後ではシェイクスピア作品中に数ある名言・名句の一部を原文付きで紹介しました。心に響くフレーズとして、時代を越えて今なお小説や歌の歌詞などに影響を与えているものも数多くあるようです。みなさんもこれを機会にシェイクスピア作品を読んでみてくださいね！

参考文献

『心に響け、シェイクスピア：英語で味わう名セリふ』 佐久間 康夫 著、日本放送出版協会、2009（請求番号：932/364）
 『シェイクスピアは誘う：名セリふに学ぶ人生の知恵』 河合 祥一郎 編著、小学館、2004（請求番号：932/334）
 『あらずで読むシェイクスピア全作品』 河合 祥一郎 著、祥伝社、2013（請求番号：B932K/1882）
 『シェイクスピア全集8 悲劇』 筑摩書房、1967（請求番号：B932/257/v.8）
 『シェイクスピアを学ぶ人のために』 今西 雅章 [ほか] 編、世界思想社、2000（請求番号：B932K/1708）
 『はじめてのシェイクスピア：英文学の最高峰を楽しむ』 戸所 宏之 著、PHP エディターズ・グループ、2003（請求番号：932/300）
 『はじめてのシェイクスピア』 梅宮 創造 著、王国社、2002（請求番号：932/284）

(TOMIMASU, Waka : 広報委員)

オープンキャンパス／父母の集い企画展報告

徳川政治の光と影 — 泰平の世と禁教令 —

図書館では、2016年の7月の「オープンキャンパス」と9月の「父母の集い」にあわせ、企画展を行っています。徳川家康が亡くなって400年経った2016年、家康によるキリシタン国外追放令を受けてマニラで没したキリシタン大名・高山右近が「地位を捨てて、信仰をつらぬいた殉教者である」として、ローマ法王庁より福者に認定されました。この節目の年を記念し、徳川政治と禁教令に焦点をあて、図書館所蔵の関連資料等を展示しました。



てんちゃん

徳川家康が創設した江戸幕府は、平和な時代のイメージがありませんか？しかし禁教令が施行されていた江戸時代は、多くのキリシタンが苦しめられていた影の面を合わせ持つ時代でもあります。その詳細については図書館の資料で調べてもらうこととして、ここでは企画展で展示した資料の一部を紹介したいと思います。

江戸時代ってどんな時代？

「徳川家康ってどんな人？」のコーナーでは、徳川家康の幼少期、信長、秀吉のもとにいる時期、江戸幕府を開いた時期について、様々なトピックを交えて家康を紹介しています。また家康をめぐる人たちとして、外国式の船を作るように求められ完成させた「三浦按針（ウィリアム・アダムズ）」、家康の奥女中として迎えられたが、キリスト教の棄教を拒否して島流しにされた「おたあジュリア」も紹介しています。

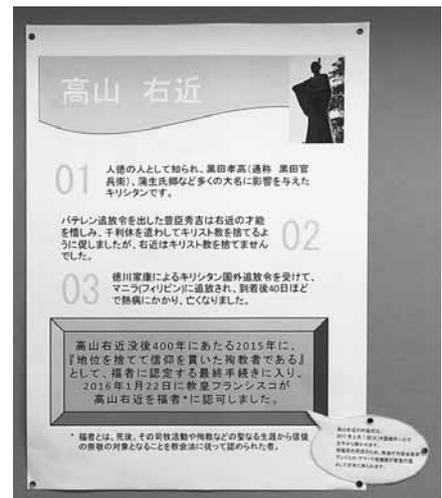
江戸時代を様々なトピックで紹介するコーナーでは、にぎりずし、てんぷら、そば、うなぎが江戸のファーストフードであり、江戸時代の後期には今に伝わる高級料亭や様々な料理本が登場したことを紹介しています。出版事情のトピックとしては、出版界の中心が京・大坂から江戸に移ったこと、江戸時代には出版点数が急速に増えて、読み本や黄表紙、滑稽本などの庶民のための本や、現世の世態・風俗を描いた浮世絵がたくさん出版されるようになったことを紹介しています。



高山右近

高山右近が、人徳の人として知られ、黒田孝高（通称 黒田官兵衛）、蒲生氏郷など多くの大名に影響を与えたキリシタンであったことや、バテレン追放令を出した豊臣秀吉が右近の才能を惜しみ、千利休を遣わしてキリスト教を捨てるように促したが、キリスト教を捨てなかったこと、徳川家康によるキリシタン国外追放令を受けてマニラ（フィリピン）に追放され、到着後40日ほどで熱病にかかり、亡くなったことを紹介しています。

また、高山右近没後400年にあたる2015年に、『地位を捨てて信仰を貫いた殉教者である』として、福者に認定する最終手続きに入り、2016年1月22日に教皇フランシスコが高山右近を福者に認可して、2017年2月7日に大阪城ホールで列福式が開かれることも紹介しています。



五榜（ごぼう）の掲示（CAT3/190/1）

明治政府の対民衆政策の基本を示したものです。五か条の誓文の翌日、1868年（慶応4）3月15日、政府は旧幕府の高札（こうさつ）を撤去し、かわりに立てた5条の制札で、第一札は五倫の道を勧め、殺人、放火、窃盗を禁じ、第二札は徒党、強訴、逃散を禁止し、第三札では切支丹（きりしたん）、邪宗門を禁じました。ここまでは旧幕府の伝統的な庶民統治策を継承したもので、定三札とし永世法であるとされました。ついで第四札で開国和親を命じ、第五札では土民の本国脱走を禁じました。このように、新政府は五か条の誓文で公議を標榜し開明的な姿勢を示しましたが、一方で、旧幕府の伝統をも継承する体質をもっていました。（ジャパンナレッジ Lib NK 参照）



企画展では、これら江戸時代の案内や五榜の掲示のほかに、キリスト教が日本に伝わってからキリシタン禁制の高札の撤去までに起こったキリスト教に関わる様々な出来事を年表で紹介しました。例えば、キリスト教を日本に伝えたフランシスコ・ザビエルや、大阪から長崎まで歩かされ処刑された日本二十六聖人、多くのキリシタン関わった日本の歴史上最大規模の一揆であった島原の乱が紹介されました。

図書館には、本や雑誌ばかりだけでなく、新聞、辞書・事典も置いてあり、また図書館 Web ページからは、電子ブックや電子ジャーナルの資料も見ることができます。

是非みなさん自身でいろいろな記事をみつけてください。きっと何か発見があるはずですよ。

参考文献

『五榜の掲示』 ジャパンナレッジ Lib NK <http://japanknowledge.com/>（参照2016-10-24）

『江戸時代のすべてがわかる本』 大石 学 編著。ナツメ社、2009（請求番号：210C/8905）

『江戸のファーストフード：町人の食卓、将軍の食卓』 大久保 洋子 著。講談社、1998（請求番号：383.8K/253）

(ISHIDA, Makoto : 広報委員)

韓国ソウルの図書館見聞記

加藤 富美

2016年9月、韓国ソウルの図書館を訪問する機会がありました。2000年前後から政府主導の高度な情報化政策が進められた韓国は、今はIT先進国。訪問した各図書館では、従来からの建物を改修したり、新しい施設を設置して、先進的なIT技術を駆使したサービス空間を利用者に提供するとともに、高度な情報環境を背景とした様々なサービスを展開しています。今号では、皆さんにその一端をご紹介しますと思います。

■ソウル大学校 中央図書館

ソウル大学校は、韓国最高峰の国立総合大学。ソウル市内に2つのキャンパスがあり、16の学部が設置されています。現在の資料所蔵数は約520万点、学生数は約28,000人、利用者数は1日平均7,000人。冠岳キャンパスにある中央図書館は、1946年の開校と同時に、京城帝国大学の建物と書籍を受け継いで開館しました。2015年には、600億ウォン（約55億円）の寄付を受けて中央図書館の隣に冠廷館が建てられました。冠廷館は旧館を覆うように建てられ、時代が異なる新旧の建築物が、上手く調和しています。冠廷館の中は、床暖房を備えた広々とした閲覧室や、大小様々なグループスタディールーム、マルチメディア・プラザなど学生が自由に利用できるスペースになっています。また利用者に付与されたQRコードをスマートフォンにダウンロードすれば、入退館、貸出返却や閲覧席の予約など、スマートフォンひとつで何でもできる「Mobile Pass」も整備されています。



旧館を覆うように建てられた新館は、地上8階建、2015年の韓国建築賞受賞



寄付の金額に応じて、寄付者のプレートが飾られている

■成均館大学校（水原キャンパス）学術情報館

成均館大学校は、1398年に設立された朝鮮王朝の最高教育機関成均館を母体とする歴史ある私立総合大学です。2つのキャンパスのうち、ソウル近郊にある水原キャンパスには自然科学系の学部があり、キャンパス内の学術情報館は2009年に完成しました。ガラスが多用された7階建ての外観といい、1階から7階まで吹き抜けに貫かれた内観といい、一度見たら忘れられない印象的な建物です。S字型の入退館ゲートは、自然に歩行速度を減速させる効果があるスグレモノです。5階のCAFÉは、黄色のイメージカラーで統一されており、友達同士おしゃべりしながら、飲んだり、食べたりすることができます。その他、約3,000席もあるリーディングルームやシネマルーム、スタジオも備えた最先端の図書館です。



学術情報館外観



吹き抜け部分に突出したガラス張りのキューブ型グループ学習室



5階にあるカフェ

■延世大学校 中央図書館・学術情報センター

延世大学校は本学の交換留学校。朝鮮王朝では初となる西欧式の王立病院が起源のキリスト教系の私立総合大学です。ソウル市西大門区の新村キャンパスにある学術情報センター 7階の屋上庭園からキャンパスを見渡すと、少し離れた場所に系列の病院が見えます。またキャンパス内には託児所もあり、案内してくれたスタッフの双子のお子さんは、そこで毎日お母さんのお迎えを待っているとのことでした。学術情報センターは、大学創立120周年記念事業として、2008年に中央図書館に隣接して建てられた地下2階、地上7階建の建物です。ユビキタス・ライブラリー、カルチュラル・ライブラリー、コンビニエント・ライブラリーという3つのコンセプトをもとに設計されました。ソウル大学校と同様に、伝統的なスタイル

の中央図書館と、先進的なIT施設、複合文化空間、快適な研究学習空間を備えた学術情報センターが上手く融合しています。就職状況を反映して、ソウルでは自分で起業する学生が多く、図書館ではそういった学生達のサポートにも力を入れています。学術情報センターの一角にある情報交換スペースでは、学生達が活発に話し合っている姿が印象的でした。また動画を作成するためのスタジオや編集ルームも備えられていて、大勢の学生が動画をプレゼンなどに積極的に活用しているそうです。

■高麗大学校 中央図書館・学術情報館

1946年に普成専門学校を前身として設立された、成均館大学校や延世大学校に並ぶ韓国の名門私立総合大学です。毎年9月頃には延世大学校との間に定期高延戦が行われるそうです。スポーツの祭典であると同時に応援の祭典でもあり、高麗大学校応援団がバンドを率いて応援歌を歌い踊るとのこと。本学と上智大学との間の上南戦を彷彿させますね。史蹟286号に指定され保護された貴重な建物を改修した中央図書館とは別に、2005年に新設された100周年記念館の中に学術情報館を設置し、電子情報とマルチメディアサービスの提供を行っています。中央図書館には、韓国でも珍しい無人のスマート貸出・返却機が導入されていて、学生はスマートフォンやオンライン経由で図書館に申請すれば、機械が設置された場所でいつでも本の貸出・返却ができるようになっています。



スマート貸出・返却機

■ソウル図書館

2002年のワールドカップで、韓国のチームカラーの赤を身に付けた大勢の市民が集まった場所がソウル市庁舎前。当時は交通量の多い大きな交差点でしたが、ワールドカップを契機に円形の芝生広場に生まれ変わりました。

ソウル図書館は、その広場に面した旧ソウル市庁舎を改装して、2012年に開館した公共図書館です。古い建物を一度宙に浮かせて、地下階を増設してから元に戻すという離れ業を行い、リニューアルしました。京城府庁舎として建てられ、終戦後はソウル市庁舎として使われた歴史ある建物の外観はそのままに、中は見事に新しく生まれ変わりました。ソウル図書館内には様々なタイプの閲覧室や展示室があります。韓国では、従来の図書館単独の機能ではなく、図書館 (Library) ・アーカイブ (Archive) ・博物館 (Museum) の複合文化空間 (Larchiveum) を目指しているそうです。



階段式の閲覧スペース

子ども向けの閲覧室は階段のようになっていて、親子で仲良く本を読むことができます。また別の階には、修学旅行で乗り合わせた多くの高校生が犠牲になった2014年のフェリー事故セウォル (世越: SEWOL) 号のメモリアルルームもありました。事故後、安否がわからない乗客の無事を祈って全国に広がった「黄色いリボンキャンペーン」で集まった、黄色い紙で折られたたくさんの舟や黄色いリボンに書かれた数々のメッセージがこの部屋に飾られています。今でも、多くの人々がこの部屋を訪れ、黄色い壁にメッセージを貼り続けています。



セウォル号追悼メモリアルルーム

ソウルこぼれ話 その1

韓国の女性は、「肌が美しい」とほめられることが一番嬉しいとか。素敵な洋服は、お金さえあれば買えるけれど、肌はそんなわけにはいかない。女性の肌には幸せの度合いや健康状態、日々の努力などすべてが現われているそうです。

ソウルこぼれ話 その2

雨の日に、韓国の人々が食べたくなるのは、カルグクス (韓国風うどん) とチヂミとか。肌寒い雨の日の昼食時には、「雨が降っているから、カルグクスを食べに行こう！」という声が聞かれるそうです。また、雨音がチヂミを焼く音に聞こえて、チヂミが食べたくなってしまう人も多いとか…。

(KATO, Fumi : 利用者支援係)

新入生のためのライブラリー案内

図書館では、新入生のためのライブラリーツアーを以下の日程で行います。

図書館の施設を案内しながら、図書館の資料の探し方や利用のコツなどをわかりやすく説明します。試験直前で慌てることがないように、高校までとは違う大学図書館の利用方法をマスターしてください。

開催日	自由参加・期間中随時受付
4月4日(火)	14:00～16:00
4月5日(水)	14:00～16:00

●所要時間：約20分 ●集合場所：1階ブラウジングコーナー

南山大学図書館 新入生歓迎企画

「ようこそ 南山大学図書館へ」 ～新入生のための図書館案内～

2017年4月1日(土)～16日(日)
図書館1F(ブラウジングコーナー)

先生や図書館員から
新入生のみなさんにお薦めの本を紹介します!!



《編集後記》

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる学生生活、図書館でああなたの心に残る一冊を見つけてみませんか？(関本)

南山大学図書館報 デュナミス No.71

2017.4.1 発行

発行：南山大学図書館 広報委員会
編集委員：藤田、石田(信)、関本
印刷：一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
Phone:052(832)3707 Fax:052(833)6986
<http://office.nanzan-u.ac.jp/library/> ※図書館Webページでもご覧いただけます。